

「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」 第20回公開講演会報告

(公社)日本磁気学会 総務委員会

去る2015年3月21日(土)に、日本大学船橋キャンパスにおいて、(公社)日本磁気学会第20回公開講演会「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」を日立金属(株)および(株)高純度化学研究所のご後援、ご協力を頂き開催しました。今回は船橋キャンパス周辺の小学校向けに参加者を募集し、小学生約30名とその父兄ほかあわせ50名近くの方が参加されました。

講演会当日は杉田総務理事の挨拶にはじまり、講師としてお招きした産業技術総合研究所ナノスピントロニクスセンターの北岡幸恵博士により「身近なところで大活躍！磁石の不思議な力」というタイトルで、磁石の基本的な性質と身近にある磁石について、判り易い説明やたくさんの実験を交えて、磁石の面白さ、不思議さを子供たちに約40分の講演をしていただきました。北岡さんが磁気浮上ゴマのデモに成功すると大きな歓声上がるなど、講演は終始和気あいあいとした雰囲気の中で進めることができました。講演後の質問コーナーでは「どうやって地球が磁石になるんですか?」という、講師・総務委員共々も思わずたじろぐ厳しい質問も飛び出しました。

講演終了後に、子供たちに数班に分かれてもらい、「動く液体？磁気スライムを作ろう!」、「切符の裏の秘密の模様とは・・・」、「ハードディスクを分解しちゃった!?!」、「すごい磁石の大集合!」、「磁石で音を鳴らしてみよう!」、「不思議体験、マグネットパワー!?!」の計6コーナーを体験してもらいました。参加者数も多く、広い会場いっぱい子供たちが興味津々の表情で体験コーナーをめぐっていたことや、積極的にコーナーの先生方に質問をする姿が大変印象的でした。パソコンなど身の回りの情報機器に使われるハードディスクの中身、モーターと発電機の構造の違い、磁石を使ったスライムの作成、磁気光学効果を利用した磁壁の動く様子の観察など、磁石の魅力を存分に実感してもらえたのではないかと思います。今回参加いただいた方々にアンケートを記入していただいた結果、子供たちはやはり体験コーナーのスライム作りが人気だったようです。また、今後もこのような講演会に参加したいと答えた児童および父兄も多く、講演を開催したスタッフにとって大変嬉しい結果となりました。閉講式では、講演や体験を通して磁石の不思議さに気づき磁石に詳しくなったということで、高野総務理事より「じしゃく博士」認定証を一人ずつ子供たちに贈呈し、最後に高野総務理事からの閉会の挨拶を持って講演会の終了となりました。

若者の理科離れが叫ばれる昨今ですが、今回の公開講演会での子供たちの様子を見て少々安堵する思いがしました。今回ご協力いただきました学会事務局スタッフおよびアルバイトの学生さんに心より感謝いたします。このように盛況のうちに閉会することができたことは、総務委員オーガナイザとして大変うれしい気持ちです。また、公開

講演会の準備でご協力いただいた皆様ほか、第20回講演会にご協力いただいた全ての皆様・参加していただいた皆様に紙面を借りて改めてお礼申し上げます。

(総務幹事:齋藤秀和)